

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公開番号】特開 2007-99105 (P2007-99105A)

【公開日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2007-015

【出願番号】特願 2005-292263 (P2005-292263)

【国際特許分類】

B 6 2 D 5/00 (2006.01)

B 6 2 D 1/16 (2006.01)

F 1 6 D 1/02 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 5/00

B 6 2 D 1/16

F 1 6 D 1/02 M

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 31 日 (2009.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アシスト力を発揮する装置ユニットには、相対関係が特定された入力軸と出力軸とを備えるとともに、これら入力軸および出力軸のそれぞれには、セレー션을固定し、前記入力軸のセレーションは、ハンドルに連係した入力機構のセレーションと組み合わせ、前記出力軸のセレーションは、タイヤ側に連係した出力機構のセレーションと組み合わせるパワーステアリング用駆動装置において、

前記入力軸のセレーションは前記出力軸のセレーションよりも歯数が多く、

前記入力軸および前記出力軸のいずれか一方または双方のセレーションに、前記入力機構と前記出力機構との中立位置を定めるポイントとなるマーキングを施してなるパワーステアリング用駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

この発明は、アシスト力を発揮する装置ユニットには、相対関係が特定された入力軸と出力軸とを備えるとともに、これら入力軸および出力軸のそれぞれには、セレー션을固定し、前記入力軸のセレーションは、ハンドルに連係した入力機構のセレーションと組み合わせ、前記出力軸のセレーションは、タイヤ側に連係した出力機構のセレーションと組み合わせるパワーステアリング用駆動装置において、前記入力軸のセレーションは前記出力軸のセレーションよりも歯数が多く、前記入力軸および前記出力軸のいずれか一方または双方のセレーションに、前記入力機構と前記出力機構との中立位置を定めるポイントとなるマーキングを施した点に特徴を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0014】

この発明によれば、入力軸および出力軸のいずれか一方または双方のセレーションにマーキングしたので、そのマーキングした位置をポイントにして入力機構と出力機構との中立位置を定めれば、ハンドル角に対して、タイヤの切れ角を、常に等しくできるとともに、そのための組み付け作業は、きわめて簡単になる。